

特別研修

月例研究会 議事録 (7 月)

2009 年度第 3 回

| | |
|--|-----------------------|
| 報告題名 中国WTO加盟後における日中経済関係と政策展開 | |
| 報告者 韓 波 (所属分野) 農業経営経済学 | 日時 7月23日 午後3時～ |
| 座長 八木 | 場所 第7講義室 |
| | 議事録担当者 福田 |
| 出席者 長谷部, 安江, 両角, 冬木, 工藤, 澁谷, 鹿島, 小山田, 韓, 松井, スチン, ソ, 八木, 柳瀬, 安部, 佐々木, 福田, 水木, 宮里, 渡邊, 北脇, 月僧, 滝田, 中村, 永井, 水野, 金, 包 | |
| 報告要旨 2001年12月に、中国は自由貿易と市場経済をモットーとしたWTOへの加盟を果たした。中国はWTO加盟後、日中経済交流も強化されたが。貿易・投資の動きを見ると、日本との貿易・投資より対欧米の進行が早い。2005年に、日本は米国、EUに遅れ、中国対外貿易の1位から3位に下がった。こうした中で、日中両国は、それぞれ独自の積極的な対外経済協力戦略をとっているが、それに比べて日中間での経済協力新動向がまだ見えない。 本論文の課題は、中国のWTO加盟後における日本と中国の経済関係の特徴と変化を外国貿易と直接投資に即して明らかにし、そのうえで日中経済関係の発展のために必要な政策を検討することである。 | |
| 質疑・応答 八木：今回の課題を踏まえて、今後の研究の展開について教えて欲しい 韓：現在、日本から中国への輸出は高い工業製品が大部分を占めている。他の分野をカバーするために日本の中小企業が中国に進出できるように、知的財産権や非関税障壁について研究したい 長谷部：今回の発表は農業とあまり関係のないように思えたが、今後も農業と関係のない研究をするのか 韓：今後は日中間の農業製品の輸出入についても考えていきたい 工藤：農産物貿易の問題についてまとめて報告しようとしたが、うまくまとまらなかったということか 韓：はい 八木：中国のWTO加盟後の日中協力メカニズムに着眼点を置く意義は何か 韓：既存研究において日中両国間の協力メカニズムについての研究が少ないので着目した | |